

社会(地理分野)科学習指導案

指導教諭

授業者

1. 日時 平成 29 年 9 月 13 日(水曜日) 5 限
2. 学級 第 1 学年 4 組(男子 19 人、女子 19 人、計 38 人)
3. 場所 1 年 4 組教室
4. 教科書 『社会科 中学生の地理 一世界の姿と日本の国土一』(帝国書院)
5. 单元名 「第 3 章 世界の諸地域 2 節 ヨーロッパ州」(p. 50~p. 63)
6. 教材観

本单元は、学習指導要領の地理的分野の内容(1)「世界の様々な地域」のウ「世界の諸地域」(イ)「ヨーロッパ」を受けて設定したものである。この単元の学習は、ヨーロッパ州における地域的特色を理解させることを主なねらいとしている。

ヨーロッパ州は、言語や宗教など文化の違いによって様々な民族を形づくり、国家を形成してきた。また、15 世紀の大航海時代を経て、世界各地に植民地を獲得したことで国際的地位を高め、政治や経済、文化の面で影響を及ぼしてきた。しかし、20 世紀に二度の大戦を経験し、世界の中心的役割がアメリカ・ソ連に移った。これらに対抗して、地域的団結を深め世界への影響力を高める試みとして EU が結成された。現在においても、EU の世界的影響力は大きい。しかし、近年は地域間格差や移民の受け入れによる宗教対立など地域統合による課題も多くみられる。

本单元では、ヨーロッパ州の地域的特性を明確に捉えた上で、地域統合の影響と課題について考察させたい。

7. 指導観

ヨーロッパ州を概観するにあたり、まずヨーロッパ州の多様な地域的特性を理解する必要がある。気候など自然環境が地域によって異なり、それに適した農業が展開されてきた。また、キリスト教に代表される宗教や言語といった文化などを基盤とした様々な民族が存在していることを、資料を用いて考察させ、資料読解力を育てるものとする。

次に、EU による地域統合の目的と経緯を理解させ、人々の生活がどのように変

化したのかを考えさせたい。さらに、地域的特性の多様さによるEU内の経済格差といった課題を取り上げる上で、イギリスのEU離脱問題など近年のEUをめぐる出来事を提示して、今後のEUのあり方について生徒の考えを深めていきたい。

8. 単元の目標

- ・ヨーロッパ州の地域的特色に関心を持ち、それを主体的に学ぶ態度を身につけるとともに、ヨーロッパ統合による生活の変化と課題について意欲的に追求しようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・ヨーロッパ州の地域的特色を多面的・多角的に考察し、地域統合の影響について、その変化や課題を適切に表現することができる。(思考・判断・表現)
- ・ヨーロッパ州に関する統計資料の分析や、雨温図・写真の読み取りや比較・関連付け等の学習活動を通じて、地域的特色を捉えるとともに、資料活用の技能の基礎を身に付ける。(技能)
- ・ヨーロッパ州の自然環境や産業、生活・文化、地域統合とその歴史的背景等の地域的特色について理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)

9. 指導計画

第3章 世界の諸地域

2節 ヨーロッパ州(8時間)

- ① ヨーロッパ州の自然環境・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間
- ② ヨーロッパ文化の共通性と多様性・・・・・・・・ 1時間
- ③ ヨーロッパ統合と人々の生活の変化・・・・・・・・ 1時間
- ④ ヨーロッパの農業の今・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間(本時)
- ⑤ 国境をこえて結びつくEUの工業・・・・・・・・ 1時間
- ⑦ ヨーロッパとアジアにまたがる国～ロシア～・・・・ } 1時間
- ⑧ ヨーロッパのまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・ }

10. 本時の目標

- ・ヨーロッパ州の農業の地域的特色と地域統合が与えた影響について関心を持ち、意欲的に探求しようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・混合農業、酪農、地中海式農業、園芸農業の特色について理解し、その知識を身につけている。(知識・理解)

11. 本時の授業展開

過程	学習内容	学習活動・指導内容	指導上の留意点
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとの農業展開による食文化(名物料理) ①ドイツ(じゃがいも、ソーセージ) ②イタリア(パスタ、ピザ、魚介料理) ③スイス(チーズ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各国の名物料理の写真を見せて、それぞれの特色について考えさせる。 発問どの料理が食べてみたいか？また、その理由は？ ・ヨーロッパの自然環境や文化によって、食文化が異なり、農業の多様性に結びつくことを予告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各国の郷土料理の写真資料を準備し、電子黒板に提示する。 ・生徒の反応を元に、問題提起につなげる。 ・プリントを配布する。
問題提起 ヨーロッパの農業には、どのような特色があるのだろうか？			
展開① (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの農業地域 ①既習事項の復習(温帯、西岸海洋性気候、地中海性気候、冷帯(亜寒帯)) ②農業地域区分 ③EU最大農業国(フランス、食料自給率) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの気候について復習する。 ・農業地域の区分ごとに色分けし、地図から読み取れることを考察させる。 発問ヨーロッパの農業にはどんな特徴があるだろうか？ ・農業国フランスを例に、様々な農業が展開されていることと農産物の食料自給率の高さを確認させる。 ・食料自給率の見方を理解し、日本の食料自給率が先進国の中でも低いことに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視 ・ヨーロッパの気候なども関連付けさせて考えさせる。 ・グラフの見方を指示する。

<p>展開② (15分)</p>	<p>・ヨーロッパの農業形態</p> <p>①混合農業(農作物栽培+家畜飼育)</p> <p>②酪農(乳牛、加工品)</p> <p>③地中海式農業(果樹栽培)</p> <p>④園芸農業(オランダ、ポルダ)</p> <p>・EUの農業政策</p> <p>①共通農業政策</p> <p>②東ヨーロッパの加入と政策の見直し</p>	<p>・混合農業、酪農、地中海式農業、園芸農業の特徴について理解する。</p> <p>・各農業の主な農産物と、グラフから各農産物におけるヨーロッパの国々の位置を確認する。</p> <p>・ポルダのしくみについて理解する。</p> <p>・EUによる農業政策(共通農業政策)と今後の課題について理解する。</p> <p>・EUの農業政策に、東ヨーロッパの加入が影響を与えたことを理解させる。</p>	<p>・気候に適した農作物が生産されていることにも言及する。</p> <p>・プリントの主な農産物を強調させる。</p> <p>・共通農業政策の内容を軽く解説する。</p>
<p>まとめ (10分)</p>	<p>・本時のまとめと次回予告</p> <p>①ヨーロッパの農業の特色</p> <p>②ヨーロッパの工業</p>	<p>・教科書(p.58~p.59)を音読させ、重要箇所を線を引かせる。</p> <p>・ヨーロッパの農業の地域的特色を確認し、今後の課題に対するEUの取り組みについて理解させる。</p>	<p>・漢字の読み、重要箇所を指示する。</p> <p>・本時の内容と次回の内容のつながりを意識させる。</p>

12. 本時の授業評価(評価の観点)

- ・ヨーロッパ州の自然環境や文化によって様々な農業が展開されていることと、東ヨーロッパのEU加入によって農業政策が見直されていることについて関心を持ち、意欲的に探求しようとしているか。(関心・意欲・態度)
- ・混合農業、酪農、地中海式農業、園芸農業の特色について、気候や主な農産物と関連付けて理解しているか。(知識・理解)